

KYB

Our Precision, Your Advantage



100th

中間報告書

2021年4月1日～9月30日

証券コード：7242

KYB 株式会社

当社は2019年11月に、創業者 萱場資郎が「萱場発明研究所」を創業してから100周年という大きな節目を迎えましたが、本年はさらに第100期を迎えることができました。これもひとえに株主をはじめとしたステークホルダーの皆様のご支援のおかげであり、心より厚く御礼申し上げます。

創業者のDNAをこれからも途切れることなく未来へ繋いでいくことが、私たちに課せられた使命であり、本年7月にはESG（環境・社会・ガバナンス）の基本方針をグループへ展開・推進すべくESG担当役員およびESG推進室を新設しました。今後、グループ全体でCO₂排出量削減や社会の持続的発展に貢献する製品開発にも取り組んでいきます。また既存の事業活動についてもESG的観点から捉え直し、より良い地球環境を次世代に継承するためのモノづくりを主体的に推進していきます。これらの活動を通じて「人々の笑顔につながるモノづくりから、豊かな社会づくりに貢献し続ける信頼のブランド」として着実に歩んでまいります。

株主の皆様には、今後もなお一層のご支援を賜りますことを心よりお願い申し上げます。

2021年12月

代表取締役
社長執行役員

大野 雅生



業績の概況

当中間期（2021年4月1日～2021年9月30日）における世界経済は、新型コロナウイルスの影響を受け、不透明な状況が続きましたが、ワクチン接種が先進国を中心に進み、経済活動が正常化しはじめたことで、景気回復の傾向が見られます。また、わが国経済においても、緊急事態宣言の発令、ワクチン接種が進んだことで新型コロナウイルスの感染状況も落ち着き、先行きは不透明ながらも徐々に経済活動が再開されてきており、景気回復に向けた動きが期待されます。

当中間期における当社グループの売上高につきましては、経済活動の再開による顕著な需要回復を

受け、1,859億円と前中間期に比べ471億円の増収となりました。

そのため、営業利益につきましては137億97百万円（前中間期営業損失26億71百万円）、親会社の所有者に帰属する四半期利益につきましては、95億2百万円（前中間期親会社の所有者に帰属する四半期損失37億57百万円）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

当社グループ再編に伴いセグメント管理区分の見直しを行った結果、これまで報告セグメントとしていた「システム製品」については、当中間期より「HC事業」に含めております。そのため、以下の前中間期比較については、変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

①AC (オートモーティブコンポーネンツ) 事業セグメント

オートモーティブコンポーネンツ事業 (以下、AC事業) は、主に四輪車用油圧緩衝器、二輪車用油圧緩衝器と、パワーステアリングやCVT (無段変速機) 用ペーンポンプを主とする四輪車用油圧機器等を生産しております。

AC事業の売上高は、経済活動が再開されはじめたことにより、四輪車用油圧緩衝器、二輪車用油圧緩衝器、四輪車用油圧機器全て増収となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は1,110億円と前中間期に比べ35.6%の増収となり、セグメント利益71億9百万円、営業利益71億18百万円となりました。

②HC (ハイドロリックコンポーネンツ) 事業セグメント

ハイドロリックコンポーネンツ事業 (以下、HC事業) は、建設機械向けを主とする産業用油圧機器、鉄道用油圧機器、舞台機構、艦艇機器、免振装置等を生産しております。

HC事業の売上高は、主要な製品である産業用油圧機器において増収となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は680億円と前中間期に比べ32.9%の増収となり、セグメント利益58億77百万円、営業利益80億35百万円となりました。

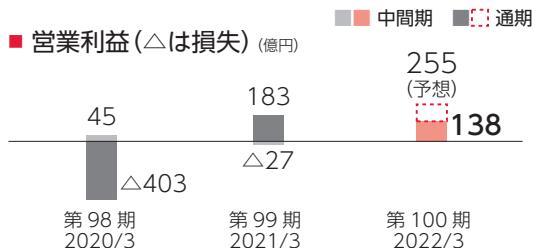
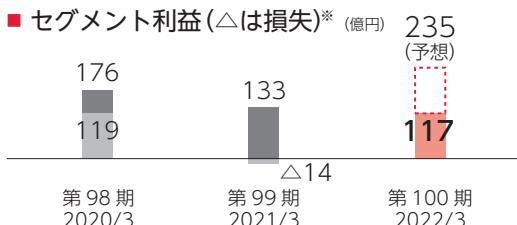
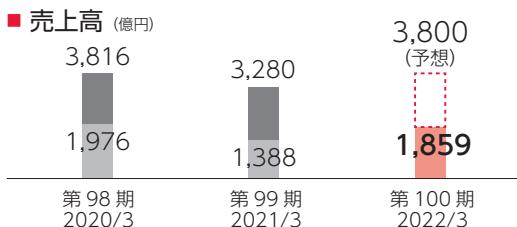
③航空機器事業セグメント

航空機器事業は、航空機器用離着陸装置、同操舵装置等を生産しております。

航空機器事業の売上高は19億円と前中間期に比べ0.6%の増収となり、セグメント損失18億79百万円、営業損失19億2百万円となりました。

配当につきましては、当社は、株主の皆様への適切な利益還元を経営上の最重要課題の一つと認識しております。2022年3月期の配当予想に、当中間期での変更はありません。配当方針及び財政状態並びに当期の業績を勘案し、当中間期の配当につきましては、普通株式1株につき45円とさせていただきます。

連結業績ハイライト



*セグメント利益は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

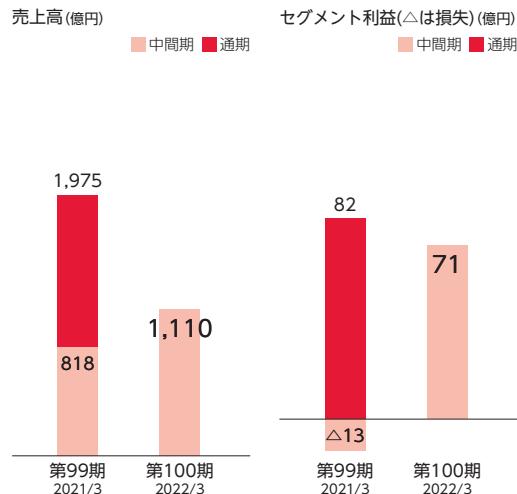
セグメント別の業績

AC (オートモーティブコンポーネンツ) 事業

売上高 **1,110** 億円

事業内容

ショックアブソーバ、サスペンションシステム、パワーステアリング、ベーンポンプ、フロントフォーク、オイルクッションユニット、ステイダンパ、フリーロック

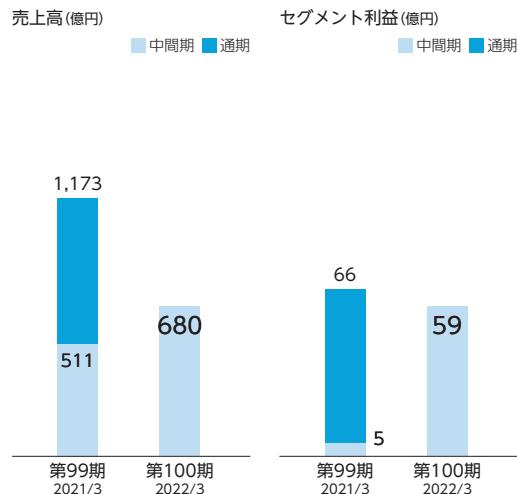


HC (ハイドロリックコンポーネンツ) 事業

売上高 **680** 億円

事業内容

シリンダ、バルブ、鉄道車両用オイルダンパ、衝突用緩衝器、ポンプ、モータ、舞台機構、艦艇機器、免制振装置、シミュレータ、油圧システム、トンネル掘削機、環境機器



航空機器事業

売上高 **19** 億円

事業内容

航空機用離着陸装置、同操舵装置、同制御装置、同緊急装置

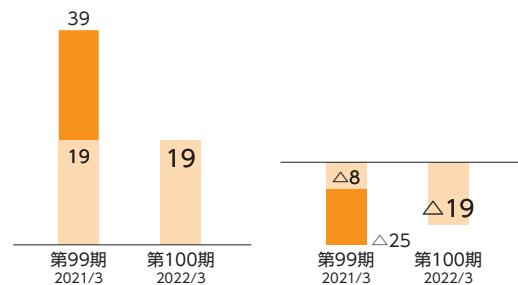


売上高(億円)

■ 中間期 ■ 通期

セグメント利益(△は損失)(億円)

■ 中間期 ■ 通期



特装車両事業および電子機器等

売上高 **50** 億円

事業内容

コンクリートミキサ車、粉粒体運搬車、特殊機能車、電子機器

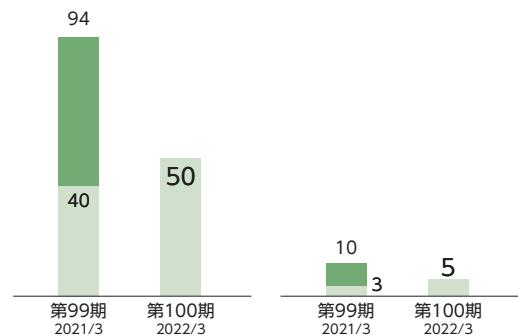


売上高(億円)

■ 中間期 ■ 通期

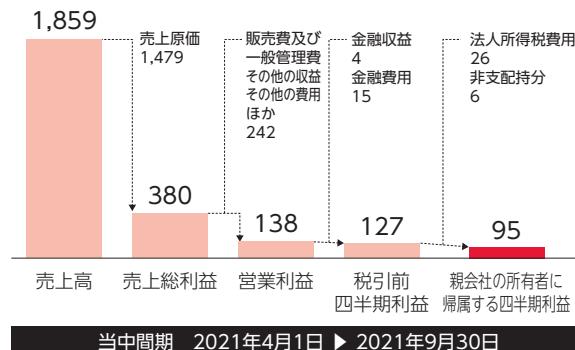
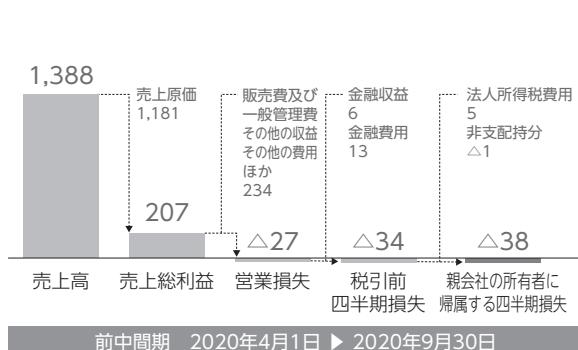
セグメント利益(億円)

■ 中間期 ■ 通期

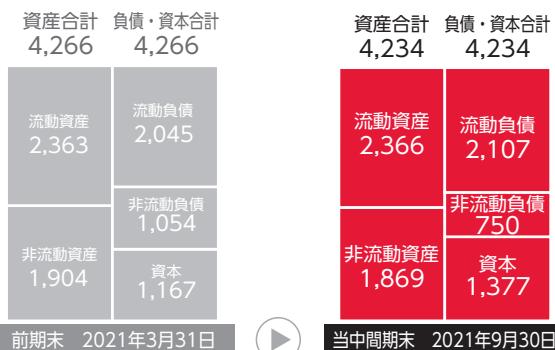


連結財務情報

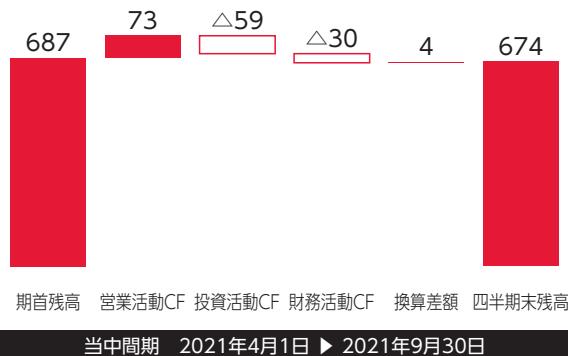
■ 連結損益計算書の概要 (億円)



■ 連結財政状態計算書の概要 (億円)



■ 連結キャッシュ・フロー計算書 (億円)



POINT

売上高

連結売上高につきましては、新型コロナウイルスの影響により先行きは不透明な状況が続いておりますが、経済活動が徐々に再開されてきたことにより、前中間期と比べ増収となりました。

営業利益

経済活動が再開され顕著な需要回復を受けたほか、免震・制振用オイルダンパーに関する製品保証引当金の繰入及び取崩を行った影響等により、営業利益となりました。

資本

A種優先株式の発行による資本増強、親会社の所有者に帰属する四半期利益の計上により利益剰余金が増加したことにより、前期末と比べ資本は増加しております。

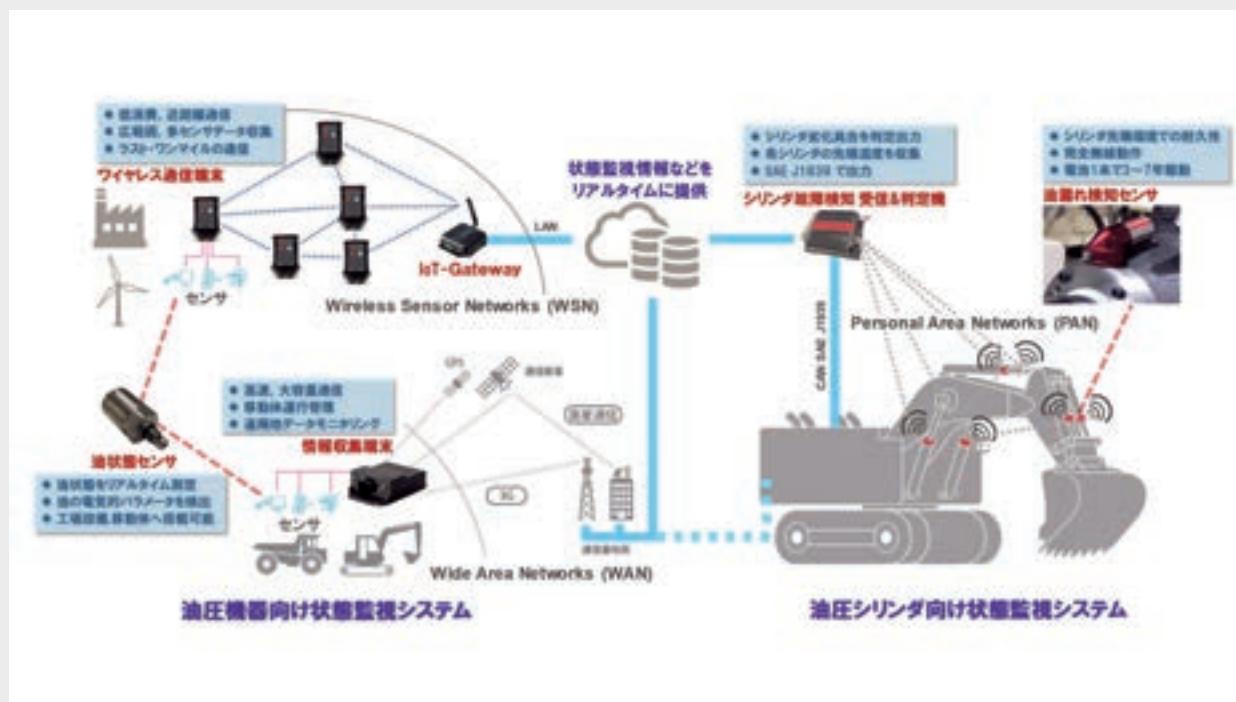
トピックス&製品紹介

油圧機器向け状態監視システムと油圧シリンダ向け状態監視システム

油圧回路に取り付けて作動油の劣化状態をリアルタイムに監視することができる油状態センサを用いた油圧機器向け状態監視システムを開発中です。本システムにより、作動油の交換時期の最適化や油圧機器の故障予測が実現可能となります。

また、油圧シリンダに取り付ける故障検知システムは開発評価の最終段階です。シリンダに搭載された完全無線で動作するセンサが直接シリンダ内部の状態を監視し、油圧シリンダの避けられない消耗品の劣化や偶発的故障を事前に発信します。

これらシステムにより、メンテナンスサイクルの最適化や油圧機器の故障予測が実現可能となり、当社の油圧機器を使用頂くメーカー様のメンテナンス事業に貢献するとともに、新たなビジネスモデル構築を提案していきます。



二輪車両向け電子制御サスペンションシステム (KADS™) ※ヤマハ発動機株式会社様にて採用

二輪車両向けに開発した電子制御サスペンションシステム“KADS”が、ヤマハ発動機株式会社様の“TRACER9 GT ABS”に採用されました。当社独自の‘グランドフック’コンセプトにより、ライダーはあたかもタイヤが地面に吸付く様な接地感(安心感)を得られ、ライディングスキルを支援し、高い操縦安定性に寄与します。

※ [KYB “Actimatic Damper System”] の略語であり、ActimaticとはActiveとAutomaticから成る造語



ESG推進室を設立

当社は、ESG (環境・社会・ガバナンス) の基本方針をグループへ展開し、推進するため、2021年7月1日付でESG担当役員を新たに選任し、あわせて推進室を新設しました。企業活動の全てに対してESGにおける価値を意識し、方針策定の基盤としていきます。

今後は、グループ全体で、CO₂排出量削減や、社会の持続的発展に貢献する製品開発などに取り組んでいきます。また、既存の活動もESGの視点で捉えなおし、社会のおよび環境的要因に対する取り組みとして社内外への発信を積極的に行うことで、社会から信頼されるモノづくりを目指していきます。



タイ子会社がゼネラルモーターズ様より品質優良賞を5年連続受賞

当社のタイ子会社であるKYBT (KYB (Thailand) Co.,Ltd.) が、ゼネラルモーターズ様より2020年の生産活動実績に対して品質優良賞「Supplier Quality Excellence Award 2020」を受賞しました。タイ国内での生産体制において納入 (Delivery) ・品質 (Quality) ・顧客満足 (Customer satisfaction) に対する取り組みが高く評価され、2016年から2020年の5年連続の受賞となります。

この他にも、国内外の生産拠点において、多くのお客様から生産活動に対して各種の表彰を受けております。今後ともグループで力を合わせ、信頼される品質の確保・継続に努めていきます。





2021年全日本ロードレース選手権 中須賀選手が前人未到10度目の チャンピオン獲得

当社がサポートするYAMAHA FACTORY RACING TEAMの中須賀選手が、オートバイの全日本ロードレース選手権の最高峰であるJSB1000クラスMFJ-GPで初のシーズン全勝を達成し、優勝しました。通算10度目のチャンピオン獲得は、前人未到の記録となります。今後も技術開発と現地サポートを継続し、チームを支えていきます。



YAMAHA FACTORY
RACING TEAM
中須賀克行選手
(#7)

2021年AMAプロモトクロス選手権 デュラン・フェランディス選手が初のチャンピオン獲得

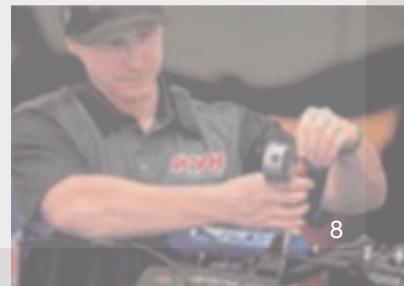
当社がサポートするStar Yamaha Racing Teamのデュラン選手が、世界最高峰の一つであるAMAモトクロスレース450ccクラスにて総合優勝しました。ヤマハ様のファクトリーチームがタイトルを獲得するのは、2007年以来14年ぶりとなります。チームはこの勢いを維持して来年1月に開幕するスーパークロスシリーズでもタイトル獲得を目指します。今後も技術開発と現地サポートを継続し、チームを支えていきます。



Monster Energy Star
Yamaha Racing 450 Team
デュラン・フェランディス選手
(#14)



KYB現地サポートメンバー



ESGの取り組み

ESG基本方針

- ESG経営を方針策定の基盤とし、価値創造の流れの全体像（価値観、ビジネスモデル、持続可能性・成長性など）を設定します。
- 既存の活動もESGの取り組みとして捉え直し、対外発信して、信頼醸成を図ります。

ESG推進にあたり、単に環境／社会への対応を行うのではなく、ビジネスチャンスの可能性を探り、企業価値を高める活動を推進していきます。そのためにも社内で行われているESGに関するすべての活動を取りまとめ、ステークホルダーの皆様にきちんと発信することで信頼醸成を図っていきます。

活動骨子

1 環境

Environment

- ① 脱炭素社会への取り組み カーボンニュートラル
- ② 資源循環型社会への取り組み 産業廃棄物削減
- ③ 自然共生活動への取り組み 環境汚染防止、生物多様性保全
- ④ 製品開発 地球に優しい製品・工程の開発

2 社会

Social

- ① 人権尊重 給与、ハラスメント
- ② 労働慣行 健康経営、こころの健康、からだの健康、安全
- ③ 人財多様性 多様な人財が壁がなく働ける環境整備
- ④ 社会貢献 社会貢献活動

3 企業統治

Governance

- ① ガバナンス体制強化
- ② コンプライアンス
- ③ リスク管理

4 基盤強化

Management Foundation

- ① ESG教育、人材育成
- ② 信頼醸成のための対外発信

法務省『Myじんけん宣言』プロジェクトに参加

当社は、法務省が推進する『Myじんけん宣言』プロジェクトに参加しました。

『Myじんけん宣言』とは、法務省人権擁護局が推進する、「企業、団体及び個人が、人権を尊重する行動をとることを宣言することによって、誰もが人権を尊重し合う社会の実現を目指す」取り組みです。

当社では、以前より『企業行動指針』の中で、「人権の尊重」について宣言を行っておりました。

この度、改めまして『Myじんけん宣言』として、トップ自ら「人権の尊重」について宣言を行うことで活動の活性化を図っていきます。



KYBグループレポート2021を 発行しました。

詳細は当社ウェブサイトをご覧ください。

https://www.kyb.co.jp/company/integrated_report.html

会社の概要 (2021年9月30日現在)

会社名	KYB株式会社
	〒105-5128
本社	東京都港区浜松町二丁目4番1号 世界貿易センタービルディング南館28階 TEL：03-3435-3511 FAX：03-3436-6759
URL	https://www.kyb.co.jp/
創立	1935年3月10日
資本金	276億4,760万円
従業員数	14,611名（連結）

役員 (2021年9月30日現在)

取締役会長	中島 康 輔
代表取締役社長執行役員	大野 雅 生
代表取締役副社長執行役員	加藤 孝 明
取締役副社長執行役員	齋藤 圭 介
取締役（社外）	鶴田 六 郎
取締役（社外）	塩澤 修 平
取締役（社外）	坂田 政 一
常勤監査役	久田 英 司
常勤監査役（社外）	田中 順 一
常勤監査役（社外）	相楽 昌 彦
常勤監査役	野々山 秀 貴

株式の状況

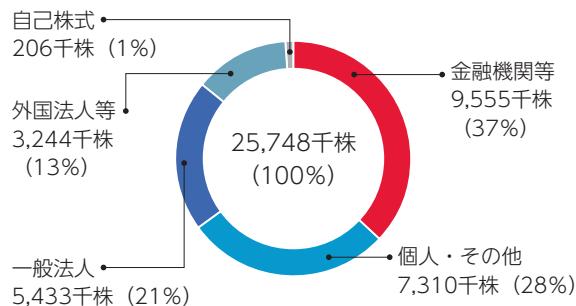
発行可能株式総数	57,300,000株
発行済株式の総数	25,748,431株
株主数	14,073名

大株主（上位10名）

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社（信託口）	3,010	11.8
トヨタ自動車株式会社	1,965	7.7
株式会社日本カストディ銀行 （信託口）	1,119	4.4
明治安田生命保険相互会社	1,005	3.9
日立建機株式会社	892	3.5
KYB協力会社持株会	887	3.5
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	612	2.4
株式会社大垣共立銀行	591	2.3
株式会社みずほ銀行	491	1.9
大田 宣明	485	1.9

（注）持株比率は自己株式（206,120株）を控除して計算しております。

所有者別株式分布



表紙デザイン

「常に見世界を見渡せ。進歩に遅れるな。できれば進歩をリードせよ」

KYBのコア技術である振動制御とパワー制御に、電子やシステムなどあらゆる要素技術が組み合わされて流動している様子をデザインしました。会社設立の精神を宇宙誕生の神秘から着想し、「技術の追究」への想いが永遠に続くことを願った創業者の言葉を未来へ繋いでいく、という想いを込めました。



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	6月下旬	
基準日	3月31日 そのほか必要ある場合は、あらかじめ公告いたします。	
剰余金の配当の基準日	9月30日、3月31日	
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部	
	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）
郵送物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝休日を除く9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)		みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース（みずほ銀行内の店舗）でもお取扱いたします。 みずほ信託銀行 本店および全国各支店 *トラストラウンジでは、お取扱できませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払		みずほ信託銀行およびみずほ銀行 本店および全国各支店（みずほ証券では、取次のみとなります。）
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵送物送付先・電話お問合せ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。
公告方法	電子公告（ https://www.kyb.co.jp/ ） ただし、電子公告による公告をすることができない場合の公告は、日本経済新聞に掲載する方法によります。	
上場金融商品取引所	東京証券取引所	



KYB 株式会社

〒105-5128 東京都港区浜松町二丁目4番1号

